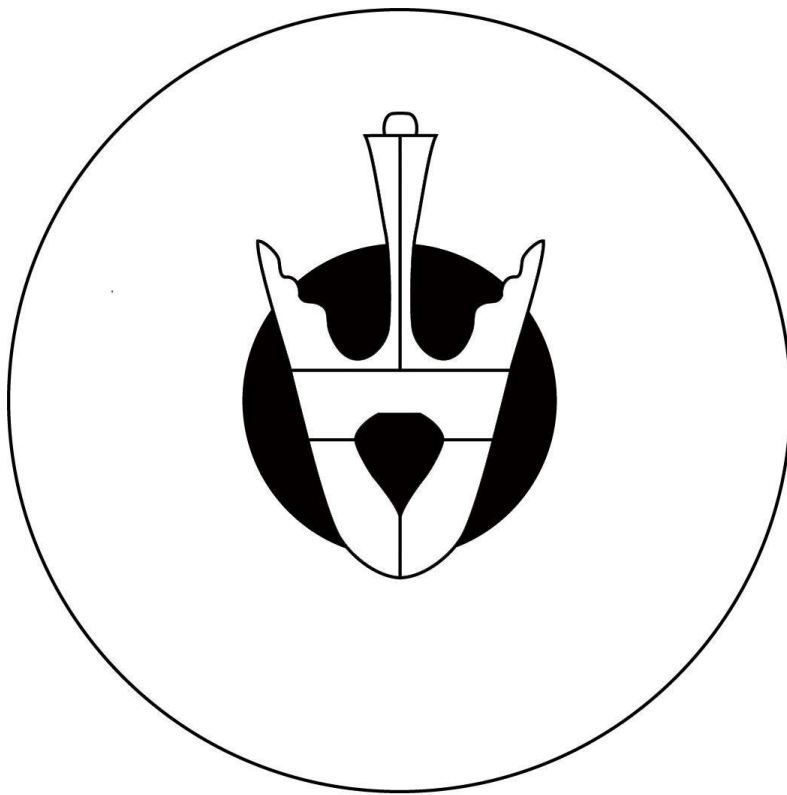


第 59 回伊勢神宮奉納 安全指針



【第 1 版】令和 3 年 1 0 月 8 日作成

【第 2 版】令和 3 年 1 1 月 4 日作成

全日本学生弓道連盟

はじめに

第 59 回伊勢神宮奉納（第 69 回全日本学生弓道王座決定戦〔以下：王座〕・第 67 回東西学生弓道選抜対抗試合〔以下：東西〕・第 45 回全日本学生弓道女子王座決定戦〔以下：女子王座〕・第 45 回女子東西学生弓道選抜対抗試合〔以下：女子東西〕）実施にあたり、安全指針を策定いたしました。

大会に出場する選手・関係者の方は、安全指針をご確認の上、最大限の感染症対策を施すようお願い申し上げます。また、大会参加に当たり、安全指針のすべての内容について同意したうえで、大会当日に「同意書」を提出していただきます。安全指針に反する場合や、感染拡大防止のために主催者が決めた措置を遵守していただけない場合、当該大学ならびに当該参加者の大会出場を禁止し、全日本学生弓道連盟規約第 29 条に基づき、懲戒処分を下す場合がありますので、ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

なお、安全指針は、新型コロナウイルスの感染状況や社会情勢等の状況に応じて、随時改定を行います。

更新履歴

2021 年

10 月 8 日 第 1 版を作成しました。

11 月 2 日 第 2 版を作成しました。

・ 第 3 部 1 大会参加人数について 一部加筆、修正を行いました。

安全指針に関するお問い合わせ先

全日本学生弓道連盟 事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-12-10 日高ビル 2 階

TEL/FAX 03-6910-0792

メール zennichi.kyudo@gmail.com

（役員が事務所にいない場合がありますので、お問い合わせは原則としてメールでお願いいたします。）

安全指針における表記一覧（定義）

語句	意味（定義）
大会期間	チームが大会会場に滞在する期間および大会会場への行き・帰りの期間を指す。 また、大会期間中とは、大会期間の初日および最終日を含める。 ✓ 例：北海道地区王座出場校の A 大学は、11 月 18 日に北海道から飛行機で移動し、同日より三重県伊勢市のホテルに宿泊する。19 日の付矢から 21 日の王座トーナメント決勝戦まで参加し、22 日に飛行機で北海道へ移動する。→この場合の A 大学の大会期間は 11 月 18 日～22 日となる。
大会 2 週間前	大会期間の初日から 2 週間前の日を指す。「大会 2 週間前から」、「大会 2 週間前まで」という表記においては、大会 2 週間前当日を含める ✓ 上記「大会期間」の例の場合、11 月 18 日の 2 週間前にあたる 11 月 4 日が大会 2 週間前となる。
大会 n 日前 (n は数字)	大会期間の初日から n 日前の日を指す。「大会 n 日前から」、「大会 n 日前まで」という表記においては、大会 n 日前当日を含める。
大会 2 週間後	大会期間の最終日から 2 週間後の日を指す。「大会 2 週間後から」、「大会 2 週間後まで」という表記においては、大会 2 週間後当日を含める ✓ 上記「大会期間」の例の場合、11 月 22 日の 2 週間後にあたる 12 月 6 日が大会 2 週間後となる。
大会会場	第 59 回伊勢神宮奉納の競技会場（三重県伊勢市・神宮弓道場※近的道場・遠的道場いずれも指す）ならびに競技会場に隣接する神宮会館を指す。
大会参加者	第 59 回伊勢神宮奉納参加者（選手・監督・コーチ・介添等）を指す。
大会関係者	大会参加者および大会運営を行う大会役員を指す。
PCR 等検査	PCR 検査、抗原抗体検査等、新型コロナウイルス感染症の陽性が判断できる検査を指す。
感染疑いの症状	平熱を超える発熱、咳、喉の痛みなどの症状、だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすい等、新型コロナウイルスに感染している疑いのある症状を指す。
感染者等	以下に定義する感染者・濃厚接触者・感染疑い者をまとめた呼称。
感染者	PCR 等検査において、新型コロナウイルスの陽性反応が出た方を指す（無症状であっても感染者と扱う）。感染者の発生日とは、症状が出始めた日とし、発症日が不明、もしくは無症状の場合、陽性と判定された検体採取日とする。
濃厚接触者	医師・保健所により濃厚接触者と判断された方を指す。濃厚接触者の発生日とは感染者と接触した日とする（複数日の場合には最も新しい日）。
感染疑い者	感染疑いの症状がある方、体調管理チェックシート（安全指針巻末）におけるチェック項目該当者、医師（看護師）により体調不調が認められた方を指す。ただし、次の(A)、(B)に該当するものは除くこととする。 (A) 医師や保健所により感染者である可能性が低いと診断された場合

	(B) 体調管理チェックシートの項目のうち、「同居家族や身近な知人で感染が疑われる方がいる」のみ該当者であり、かつ感染が疑われる同居家族や身近な知人が以下のア～ウの場合 ア PCR 等検査により陰性と判断された場合 イ 医師や保健所により感染者である可能性が低いと診断された場合 ウ 症状発症（発症日は含めない）の 2 日前から 10 日後までの期間に感染が疑われる同居家族や身近な知人と接触していない場合 感染疑い者の発生日とは、感染疑いの症状が発生した日、体調管理チェックシートのチェック項目に該当があった日、医師（看護師）により体調不調を認められた日のいずれかとする（複数日の場合には最も新しい日）。
チーム	同一大学内の大会関係者および大会 2 週間前から大会期間までに練習を共に行う選手・監督・コーチ・介添等を含めた集団を指す。男女ともに同一箇所での練習を行う場合、男女を同一チームとみなす。また、本大会における安全指針においては、個人の場合も「チーム」として表記する。ただし、以下の例に示すように、大会関係者と最後に接触した機会が大会 2 週間前以前である方は同一チームとみなさない。 ✓ 例 1：王座に出場する a 大学の A 選手は、a 大学の大会関係者と最後に接触した機会が大会 3 週間前である。 →A 選手は a 大学チームの構成員とみなさない ✓ 例 2：B 大学弓道部に所属する B 選手（大会関係者）と C 選手（大会関係者ではない）について、普段、B 選手は B 大学 b キャンパス弓道場で、C 選手は B 大学 c キャンパス弓道場で練習しているため、大会 2 週間前から B 選手と C 選手は接触が無い。 →C 選手は B 大学チームの構成員とみなさない

第 1 部 日常の感染対策

以下は、公益財団法人全日本弓道連盟作成の新型コロナウイルス感染防止対策弓道ガイドライン（https://www.kyudo.jp/pdf/notice/20200717_notice.pdf）である。特に、大会期間前は以下を参考に感染症対策を徹底すること（必要に応じて一部改変を加えた）。

（1）基本

「3密」を避け、手洗い、用具等の消毒を十分に行うこと。

（2）利用者について

- ・道場（施設内）に入る時には、先ず手指をアルコール消毒してから体温を測定し、37.5 度以上の熱のあるものは入館を控えること。
- ・スマートフォンを携帯している者は、新型コロナウイルス接触確認アプリをインストールして活用することを強く推奨する。App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。

App Store : <https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458>

Google Play : <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar>

（3）練習中について

- ・射手間隔は 1.8m 以上あけること。
- ・行射中は、安全および熱中症等を考慮し、マスクの着用は不要とする。
- ・更衣室、控室などではマスクを着用し、各自が 2m 程度離れ、大声での会話はしないこと。
- ・矢取りを担当した者は返却後、手の消毒を行うこと。
- ・矢が返却され次第、各自の矢は各自が除菌シートなどで消毒すること。
- ・他人の弓具に触れないこと。尚、弓道場の弓具を借用した場合は、使用前後に消毒を行うこと。
- ・弓具の貸し借りは原則禁止だが、教室などで共有する場合は使用者同士が消毒して渡すこと。

（4）指導者について

- ・指導者は特に手の消毒を頻繁に充分に行うこと。携帯の消毒液を持参するのが望ましい。
- ・マスクを着用し、指導対象者との距離を保つことが好ましい。
- ・接触指導はできるだけ避け、可能な限り言動で行うことが好ましい。
- ・多人数の場合は、指導対象者を 1 か所に集めるのは避け、時間を区切り分散指導を行うこと。

（5）道場・施設を管理する者には、下記を実施することをお願いする。

- ・感染者が利用者の中に発生した場合、同時期利用者に連絡が取れるように、連絡先を記した全員の入館記録を取り 1 か月保管すること。記録は、個人情報として取扱うこと。
- ・施設内入口に必ず非接触体温計を設置すること。
- ・アルコール消毒液を下記の場所などに設置すること。

☐道場出入口 ☐弓具収納場所 ☐トイレ ☐更衣室 ☐矢立て箱付近

- ・除菌シートを矢立箱付近に設置すること。
- ・道場出入口や窓などを開け、通気性のよい換気を行うこと。
- ・狭い更衣室では「3密」にならないよう使用制限を設けること。
- ・道場の広さによっては、時間帯で人数制限を行うなど考慮すること。

第2部 大会2週間前から大会期間までの感染症対策

1 感染症対策について

- 1.1 大会関係者は、基本的な感染症対策（身体的距離の確保、マスク・咳エチケット、手指消毒など）を徹底すること。
- 1.2 大会関係者は、以下の「5つの場面」をはじめ、感染リスクの高まる行為は控えること。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼ラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



（内閣官房感染拡大防止特設サイトより）

2 体調管理について

- 2.1 大会関係者は安全指針巻末の「体調管理チェックシート」に記録をつけ、大会2週間前から大会期間中の健康状態を確認すること。
- 2.2 体調管理チェックシートは回収しないが、2021年12月31日まで捨てずに保管し、主催者から提出を求められた際には、提出すること。
- 2.3 三重県「安心みえる LINE」のLINE友だち追加や厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」のインストールを積極的に行うこと。

安心みえる LINE : <https://lin.ee/qvdfI2q>

3 感染症対応について

- 3.1 保護者やチーム関係者に対し、大会期間中に感染者等が発生した場合には、付き添いや大会会場までの迎えが必要となる場合があることを周知すること。

4 大会2週間前から大会期間までに感染者等が発生した際の対応は、第5部を参照すること。

第3部 大会期間中の感染症対策

1 大会参加人数について

- 1.1 王座については、各大学、監督・コーチ・介添等を含めて、1チームの大会参加人数の上限を14名とする。15名以上が大会に参加することを認めない。
- 1.2 女子王座については、各大学、監督・コーチ・介添等を含めて、1チームの大会参加人数の上限を7名とする。8名以上が大会に参加することを認めない。
- 1.3 東西・女子東西については、選手1名につき、監督・コーチ・介添等を含めて同伴者は1名までとする。選手1名につき2名以上の同伴を認めない。
- 1.4 大会参加人数の制限は大会期間中全体において適用する。日によって参加者を変え、人数制限を超過することは認めない（例えば、王座1日目の参加者を選手12名と監督A・コーチB、王座2日目の参加者を選手12名と監督A・コーチCとすることは認めない。本例の場合、選手12名+監督A+コーチB+コーチCで参加人数は15名となり、大会参加人数の制限を超過しているとみなす）。

~~1.5 大会参加人数の制限は王座・女子王座・東西・女子東西それぞれで適用する。（廃止）~~

1.6 大会会場には制限人数以内の大会参加者のみ入場できるものとする。

1.7 王座出場チームは、王座決勝の観戦を認める。女子王座についても同様とする。（新設）

1.8 東西出場選手が所属する王座出場チームは、1.1に規定する人数に加え、1.3に規定された人数まで参加を認める。（新設）

1.9 女子東西出場選手が所属する女子王座出場チームは、1.2に規定する人数に加え、1.3に規定された人数まで参加を認める。（新設）

1.10 東西・女子東西の監督はチームの人数に含めない。（新設）

2 同意書の提出について

- 2.1 大会参加者（選手・監督・コーチ・介添等）は全員、安全指針の内容を確認した上で、大会当日までに安全指針巻末の同意書を印刷し、署名すること。
- 2.2 同意書を提出しない方の大会参加は認めない。
- 2.3 王座・女子王座出場校は、代表者1名が、当該チームの大会参加者全員分の同意書を集めて、王座・女子王座出場校代表者会議において指定する方法で提出すること。ただし、王座・女子王座ともに出場する大学は、男女分けて提出すること。
- 2.4 東西・女子東西出場者は、選手本人が、選手本人および同伴者の同意書を、東西・女子東西出場者会議において指定する方法で提出すること。王座・女子王座に出場する選手は再度の同意書提出を不要とする。
- 2.5 大会参加者に同意書の記入を強制させないこと。記入を強制させたことが発覚した場合、当該大学に対して懲戒処分を下す場合がある。

3 大会当局からの制限について

- 3.1 大学当局から大会参加が許可されていない場合、当該大学および当該参加者が大会に参加することを認めない。

4 マスクについて

- 4.1 大会参加者は着用分と予備を持参すること。主催者によるマスクの提供・販売は行わない。
- 4.2 大会会場への行き帰りの際もマスクを着用し、マスクを顎にかけた状態やマスクを外した状態での会話は行わないこと。
- 4.3 以下の場面を除き、大会期間中は常にマスクを着用すること。
 - ① 射場に入場してから退場するまでの間
 - ② 巻藁を引くとき（前に並ぶ射手が引き終えてから自分が引き終えるまで）
 - ③ 食事・水分補給を行うとき
 - ④ 入浴時、睡眠時など宿泊施設においてマスクを外す必要があるとき
- 4.4 大会期間中、マスクを着用していない場合は、大会役員から声をかける場合がある。
- 4.5 マスクの着用が難しい場合は、大会期間前に主催者にその旨を申し出ること。申出を受けた場合、入場の可否を検討する。なお、入場を許可する場合でも、フェイスシールドの着用等を求める場合がある。
- 5 来訪後の練習について
 - 5.1 大会会場来訪後は、大会期間終了まで三重県内の公営弓道場をはじめ、大会会場（神宮弓道場）以外の弓道場を利用した練習は控えること。
- 6 受付について
 - 6.1 受付には、手指消毒用アルコールを設置し、受付業務に当たる大会役員は定期的に手指の消毒を行う。
 - 6.2 受付業務は可能な限り簡素化し、受付の時間の短縮を図る。
- 7 検温・体調管理に関して
 - 7.1 大会期間前に引き続き、体調管理チェックシートに記録をつけること。
 - 7.2 大会参加者は全員、体温計を持参し、毎朝体温を測定すること。37.5 度以上の発熱が確認された場合、原則として当該参加者および当該参加者が所属するチームの大会参加は認められない。
 - 7.3 新型コロナワクチンの副作用による発熱の場合も、37.5 度以上の発熱が確認された場合、原則として当該参加者および当該参加者が所属するチームの大会参加は認められない。
- 8 消毒・手洗いについて
 - 8.1 大会会場の各所にアルコール消毒液を設置する。定期的に手指の消毒を行うこと。
 - 8.2 不特定多数が触れる可能性があるもの（トイレのドアノブ、レバーなど）に触れた際は消毒・手洗いを特に綿密に行うこと。
 - 8.3 飲食の前後は必ず消毒・手洗いを行うこと。
 - 8.4 大会役員は定期的に消毒・手洗いを行う。
- 9 式典（開会式・閉会式）について
 - 9.1 式典は例年より大幅に参加者を減らし、簡略化を図る。
 - 9.2 式典に参加する選手および人数は「選手監督必携」を参照すること。
 - 9.3 式典参加対象外の大学・選手等の参加は認めない。
 - 9.4 式典中は常にマスクを着用すること。
 - 9.5 式典中の国歌斉唱は行わない。
- 10 行射に関して

- 10.1 招集後は入場までマスクを着用し、会話を慎むこと。
- 10.2 発声を伴う応援は、場所を問わず一切認めない。
- 10.3 皆中時の拍手は認める。
- 10.4 介添による指導は認めない。
- 11 矢取について
 - 11.1 矢取を行う大会役員は、定期的に手指の消毒を行う。
- 12 観覧席について
 - 12.1 大会はすべて無観客開催とし、一般観覧者、保護者の受け入れは行わない。
 - 12.2 観覧席を利用できるのは、大会関係者に限定する。
 - 12.3 状況に応じて、観覧席の使用を制限する場合がある。
 - 12.4 観覧席では、大声での会話やマスクを外した会話を行わないこと。
- 13 食事について
 - 13.1 食事中は一切の会話を控えること。会話の必要があるときは、マスクを着用すること。
- 14 諸会議について
 - 14.1 例年、神宮会館で実施する王座出場校主将会議・女子王座出場校代表者会議および神宮弓道場で実施する東西出場者会議・女子東西出場者会議はすべて事前にオンラインで行う。詳細は「選手監督必携」を確認すること。
- 15 巻藁の利用について
 - 15.1 巻藁に並ぶ際は、周辺の人との間隔を空けて並ぶこと。
 - 15.2 状況に応じて、時間や人数の制限を行う場合がある。
- 16 物販について
 - 16.1 密を避けるために物販（大会パンフレットの販売等）は行わない。
- 17 掲示について
 - 17.1 密を避けるために掲示を例年より大幅に削減する。例年掲示で示す内容（トーナメント表・大会結果等）については、全日本学生弓道連盟ウェブサイトおよび全日本学生弓道連盟公式Twitter (https://twitter.com/zennichi_gkr) 等で確認すること。
- 18 宿泊について
 - 18.1 宿泊中は、基本的な感染症対策を徹底すること。
 - 18.1.1 入浴前後および入浴中など、マスクを外す場面では、会話を控えること。
 - 18.1.2 部屋内では、基本的な感染症対策に加え、換気を励行すること。
 - 18.1.3 チェックイン・チェックアウト時、脱衣所、エレベーターなど、密になる可能性がある場面では、特に感染症対策を徹底すること。
 - 18.2 会食や飲酒を伴う会話・食事は行わないこと。
 - 18.3 宿泊先での他大学との交流は行わないこと。
- 19 報道について
 - 19.1 報道は事前申請とし、取材人数は4名未満とする。
 - 19.2 密を避けるために囲み取材・インタビュー等は行わないこと。
 - 19.3 大会関係者のソーシャルディスタンスが確保できなくなる場合など、感染症対策の観点から問

題が生じる場合、主催者は報道の中止を指示する。

20 有事に備え、主催者は救急指定病院を設定する。

21 大会期間中に感染者等が発生した際の対応は、第 5 部を参照すること。

第4部 大会期間後の感染症対策

- 1 体調管理について
 - 1.1 大会関係者は引き続き健康状態を確認すること。
- 2 大会期間後から大会2週間後までの期間に感染者等が発生した際の対応は、第5部を参照すること。

第5部 感染者等が発生した場合の対応

1 感染者等が発生した場合

- 1.1 感染者等が発生した旨を必ず大学当局に報告し、大学当局の指示を遵守すること。
- 1.2 感染者等が発生した連絡を受けた場合、主催者は必要な情報を聞き取るので、必ず聞き取りに応じ、正しい情報を提供すること。

2 大会2週間前から大会期間までにチーム内で感染者等が発生した場合

- 2.1 感染者等が発生した旨を全日本学生弓道連盟執行委員長(zennichi.kyudo.gkr@gmail.com)へ速やかに連絡すること。
- 2.2 大会2週間前から大会期間までに、チーム内で感染者が発生した場合は当該チームの出場を認めない。
- 2.3 大会3日前から大会期間までに、チーム内で濃厚接触者または感染疑い者が発生した場合には当該チームの出場を認めない。
- 2.4 大会4日前から大会2週間前までに、チーム内で濃厚接触者が発生した場合は、当該チーム全員（濃厚接触者本人を除く）の体調不調が解消された後、薬剤を服用しない状態で3日以上経過し、かつチーム全員がPCR等検査で陰性判定された場合のみ、当該チームの出場を認める。
なお、濃厚接触者本人の参加は認めない。
- 2.5 大会4日前から大会2週間前までに、チーム内で感染疑い者が発生した場合には、当該チーム全員の体調不調が解消された後、薬剤を服用しない状態で3日以上経過し、かつチーム全員が医師により感染者である可能性が低いと診断された場合（PCR等検査による陰性判定でも可）のみ、当該チームの出場を認める。
- 2.6 大会2週間前より前の期間において、チーム内で感染者、濃厚接触者または感染疑い者が発生した場合は、チーム全員の体調不調が解消された後、薬剤を服用しない状態で3日以上経過している場合に限り当該チームの出場を認める。

3 大会期間中にチーム内で感染者等が発生した場合

- 3.1 感染者等が発生した旨を大会役員へ速やかに連絡すること。
- 3.2 主催者は関係各所と連絡を取ったのちに、対応を指示する。
- 3.3 必要に応じて、主催者は当該者および当該チームの出場停止、大会関係者のPCR等検査・帰宅等を指示するので、必ず従うこと。
- 3.4 主催者は有事に備え、隔離場所を用意する。
- 3.5 医療機関、宿泊施設、自宅等へ移動の必要が生じた際の輸送方法については、大会参加者各自の責任で確保すること。
- 3.6 大会委員長および全日本学生弓道連盟執行委員長を中心に、大会役員および関係各所の担当者等で会議を行い、大会継続や中止について、今後の対応を検討する。検討ののち、決定した内容は速やかに大会関係者に伝達する。
- 3.7 感染者等が発生した場合、当該者が利用した場所を中心に、会場内の消毒作業を行う。そのため、大会を継続する場合も、スケジュールや競技内容を大幅に変更する場合がある。
- 3.8 感染者が発生した場合、全日本学生弓道連盟ウェブサイトにおいて、感染者が参加していた大

会種別（王座・女子王座・東西・女子東西）およびその他必要と認められる情報を公表する。

ただし、名前・大学名等個人が特定できる情報は公表せず、公表の問い合わせにも応じない。

4 大会期間から大会 2 週間後にチーム内で感染者等が発生した場合

4.1 感染者等が発生した旨を全日本学生弓道連盟執行委員長（zennichi.kyudo.gkr@gmail.com）へ速やかに連絡すること。

4.2 主催者は関係各所と連絡を取ったのちに、対応を指示する。

4.3 感染者等が発生した場合、安全管理の観点から、宿泊先および宿泊先との連絡を取り次ぐ旅行担当業者に当該者の氏名および所属大学等必要な情報を公表する。公表する際、情報が拡散しないように厳密に管理することを公表先に要請する。

4.4 宿泊先以外の関係各所（保健所、地方公共団体の感染症担当部署等）から、感染者等の氏名および所属大学等必要な情報の公表を求められた場合、それを公表する。公表する際、情報が拡散しないように厳密に管理することを公表先に要請する。

4.5 感染者が発生した場合、全日本学生弓道連盟ウェブサイトにおいて、感染者が参加していた大会種別（王座・女子王座・東西・女子東西）およびその他必要と認められる情報を公表する。ただし、名前・大学名等個人が特定できる情報は公表せず、公表の問い合わせにも応じない。

5 大会役員から感染者等が発生した場合

5.1 原則として、チーム内で感染者等が発生した場合と同様に扱う。

5.2 感染者等となった大会役員は大会業務から外し、自宅待機・隔離等必要な措置を講じる。

5.3 主催者は状況を総合的に判断した上で、大会の中止やスケジュールの変更等必要な措置を講じる。

その他

1 経費負担について

- 1.1 大会中止・大会スケジュールおよび形式変更に伴い発生する費用（ホテル・交通機関のキャンセル料等）について、主催者は負担しない。
- 1.2 PCR 等検査料、治療費の費用等について、主催者は負担しない。

2 個人情報について

- 2.1 同意書をはじめ、提出・報告される個人情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関わる対応のみに使用する。
- 2.2 提出された同意書は、大会終了後、2022 年 2 月 27 日まで全日本学生弓道連盟事務所において保管する。保管期間終了後、主催者がシュレッダーにて破棄処分する。
- 2.3 感染症等の発生に基づき報告・連絡された個人情報について、主催者は厳格に管理する。

3 本安全指針は、以下に示すガイドラインを中心に、政府・地方公共団体からの発表、感染拡大防止特設サイト（内閣官房）等を参考に作成した。

- ・ 公益財団法人全日本弓道連盟「新型コロナウイルス感染防止対策弓道ガイドライン」
- ・ （公財）全国高等学校体育連盟弓道専門部・令和 3 年度全国高等学校総合体育大会上越市実行委員会・新潟県高等学校体育連盟弓道専門部「令和 3 年度全国高等学校総合体育大会 弓道競技大会 大会運営・新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」（主に第 5 部の内容において参照）

第 59 回伊勢神宮奉納 体調管理チェックシート

氏名	所属大学
----	------

①大会期間 2 週間前から大会期間中は、常に検温を行うこと。

②ア～クの内容が該当しないことを確認し、チェックをつけること

ア：平熱を超える発熱 イ：咳、喉の痛みなどの症状 ウ：だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）

エ：味覚や嗅覚の異常 オ：体が重く感じる、疲れやすい カ：感染者との濃厚接触

キ：同居家族や身近な知人で感染が疑われる方がいる

ク：過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触

11 月

日付	曜日	体温	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
4	木	℃								
5	金	℃								
6	土	℃								
7	日	℃								
8	月	℃								
9	火	℃								
10	水	℃								
11	木	℃								
12	金	℃								
13	土	℃								
14	日	℃								
15	月	℃								
16	火	℃								
17	水	℃								
18	木	℃								
19	金	℃								
20	土	℃								
21	日	℃								
22	月	℃								
23	火	℃								
24	水	℃								

2021 年 12 月 31 日まで保管し、主催者から提出を求められた際には提出すること。

第 59 回伊勢神宮奉納 出場同意書

大会参加にあたり、下記すべてに同意します。

- ・ 第 59 回伊勢神宮奉納安全指針の内容および感染拡大防止のために主催者が決めた措置を遵守すること。
- ・ 大会 2 週間前から本日までに、発熱・咳・倦怠感・嗅覚や味覚の異常等、新型コロナウイルスに感染している疑いのある症状が見られないこと。
- ・ 普段の生活で長時間共に過ごす関係者（家族、同居人等）に、参加の許可を得ていること。
- ・ 大会期間中は、選手間の距離を保ち、マスクを外しての会話、飲食中の会話は行わないこと。
- ・ 大会 2 週間後までに安全指針で定義する感染者等となった場合、速やかに全日本学生弓道連盟に報告すること。
- ・ 大会参加者に、本同意書への署名を強制するようなことは行わないこと。
※当該行為が発覚した場合、全日本学生弓道連盟から懲戒処分を下す場合があります。

以上を確認・遵守し、大会に参加します。

令和 3 年 11 月 日

参加する大会すべてを○で囲んでください : 王座 ・ 東西 ・ 女子王座 ・ 女子東西

参加種別を○で囲んでください : 選手 ・ 監督（コーチ） ・ 介添 ・ 報道関係者

学校名

署 名
